

病院の引っ越し 広報げろ 2012.07

病院の引っ越し

下呂市立金山病院は7月末、飛騨金山温泉の地に引っ越します。

◎引っ越しは、専門の引っ越し業者と病院職員が一体となって患者、物品の移送、収容、設置、調整を行います。使えなくなったもの、必要でありながら元々なかったものは購入しますが、CTやMRIなどの診療機器や机、椅子など使えるものはすべて新病院に移設、再利用します。

◎病院は24時間入院患者を中心に動いており一時も休むことができません。休むことのできない代表的な仕事は人工透析です。現在金山病院では10人の方々が5人ずつ隔日に透析を受けておられます。休みは一週間に一日だけなので透析の引っ越しは機械の整備も含めて一日で完了しなければなりません。

◎入院患者の診療も一日も休めません。引っ越し期間中外泊可能な患者は少なく、地域の医療を支えている中では入院制限にも限りがあります。送り出しと受け入れの体制を整えて一気に移さなければなりません。給食設備は移設することなく新病院ではオール電化で整いますので引っ越し後すぐに食事の提供は可能です。

◎血液検査やX線検査は緊急検査を除いて3日程度できません。CTは7月末の一週間、MRIは7月7日から約一ヵ月、装置の移設、調整のために使えません。CTなどの検査ができない7月末の一週間は救急患者の受け入れが困難になります。

◎病院にとって今回の引っ越しで最も大変で困難な作業はオーダーリングシステムの導入です。検査、処置、投薬の正確性と待ち時間の短縮を目指しての導入です。新しく造られる病院のほとんどでは電子カルテが導入されていますが金山病院では建設費用が抑えられたためにやむを得ずオーダーリングのみを電子化しました。所見は従来のように紙カルテに記載するというもので、なれるまでには待ち時間の延長など相当なご迷惑をおかけすることになると思います。

◎引っ越しは病院の本来の仕事である入院業務を優先しますので外来診療はどうしても後回しになります。外来診療を行いながら引越しをするのは人員、設備の配置などから不可能と考えています。そのため7月末の数日間休診となりますので定期的受診、投薬はこの時期を避けて受診していただくようよろしくお願いいたします。救急患者についても同期間中は他病院をご利用願うこととなります。

◎引っ越しに伴う休診日については広報などでお知らせします。

◎病院をご利用いただく皆さんには大変ご迷惑をおかけいたしますが現在の病院は老朽化により冷暖房、水回りの維持、修理が困難となり、病院の維持ができなくなっています。また病院運営に必要な基準を満たすためやむおえず新築移転するという状況をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦